



あゆみ

～5月号～

仙台 YMCA 幼稚園
2020年5月7日発行

主 題 「ともだち」

聖書の言葉 「人をわけへだてしてはいけません」

ヤコブの手紙2：1

あっという間に5月に入りました。これからも続く制限のある生活の中であっても、子どもたちの心身の発達を促すようなカリキュラムを作成し、進めていきたいと思えます。

ネガティブに考えるとこの自粛期間は本当に辛いことがたくさんあげられると思えます。でも、少し考え方を考えてみると旅行や買い物に振り回されない、自宅で過ごす休日も時には良いものであったのではないのでしょうか。

また、これから生きる子どもたちが手を洗うことの大切さを学んだり、感染を拡大させないために家にいるという社会のルールを守る大切さを学んだりする良い機会であったのではないのでしょうか。

絵本作家の五味太郎さんが今の状況についてお話しされていて、こんなことが書いてありました。「そもそもコロナの前は安定してた？普段から感じている不安が、ひるがえってコロナに移っているだけじゃないかな。不安とか不安定こそが生きてるってことじゃないかな。心は乱れて当たり前。常に揺れ動いて変わる。不安定だからこそよく考える。」という内容です。さらに「早く元に戻ればいい」と言っているけれど本当に元に戻りたいか、本当にこの状況になる前は充実していたか。」ということが書いてありました。もとに戻るのではなく、私たちも今までしたことのないこの経験をとおして幼稚園や学校の在り方、子どもたちとどう関わっていくか、何を伝えるか考え、より良いものに変えていくチャンスなのではないかと五味太郎さんのお話を読んで強く感じました。不安や不便を感じる今だからこそ多くのことを見直していけたらと思っています。

私の義理の母は何でも自分で作る人で、自分の着ている洋服や、普段の食事もそうですし、紅ショウガや梅干し、干し柿や、お正月のお餅もち米から作り、鏡餅まで作ってしまいます。今回私たち家族にもたくさんのマスクを作ってくれました。今までもずっと買い物は1週間に1回、外食はほとんどしない、自分で作れるものはできるだけ作る義理の母を見ていたらこの自粛生活は感染の恐怖はあったとしても、苦ではないだろうなと感じました。昔の暮らしをしている人の強さを改めて感じた私でした。私も家庭を守る者として自分の日常生活を見直したいと感じました。(園長 高橋祐子)



新学期のねらい

もも組

- ・教師に安心感を抱く
- ・登園を楽しみにする

いちご組

- ・喜んで登園する
- ・安心できる場所を見つける

ひまわり組

- ・入園、進級したことを喜び、
新しい生活を楽しむ

ゆり組

- ・進級したことに期待を持ち、生き生きと過ごす

提出物、幼稚園に持ってくるものについて

4月にお渡しした用品と提出物については、以下の通りです。



《提出物》以下のものはすべて始業日に提出になります。

- ①幼稚園行事お手伝いアンケート（年中・年長のみ）
- ②フツ化物洗口のアンケート（年中・年長のみ）
- ③アレルギー調査票（進級児のみ）
- ④PTA・ベルマーク委員アンケート（年少のみ）

《保育用品》記名がされているか確認し、幼稚園にお持ちください。

健康観察カードの活用について

健康観察カードを同封しました。（春休みの預かり保育を利用していたお子さんにも再度お配りしています。）

全園児を対象にお家で記入していただき、毎朝登園の際にお家の方がカードを教師に見せてください。

5月中の行事予定について

5月中に予定されていた行事については、すべて実施を見合わせます。
詳細は始業後にお知らせします。

幼稚園が始まったらお願いします

着替え袋について

汚れた服を持ち帰った際には、翌日に着替えとビニール袋の補充をお子さんに持たせてください。

着替え袋の中には・・・

- ・季節に合わせた着替え（上着、ズボン、シャツ、パンツ、靴下）少なくとも2組はご用意ください。
- ・ビニール袋を4～5枚（ビニール袋にも記名をお願いします）

持ち物の記名について

持ち物には必ず名前の記入をお願いします。名前がなく、お返しできない物があります。

また、自分の持ち物が分からず保育中に困っている場面もありますのでよろしくお願い致します。

- ・上靴のかかとの所に名前が書いてあると、靴箱から探すときに見つけやすいです。
- ・水筒は、上から見た時に分かるように、ふたの上部にも名前を書いてください。

絵本袋について

毎月の絵本やさんの際に月間絵本を絵本袋に入れてお渡しします。

そのほかにも、作品を持ち帰る際にも使用します。

持ち帰った翌日には園に戻すようにお願いします。

～ご協力よろしくお願い致します～



